

平成27年4月～令和元年12月

# 事業報告書

学生と社会の相互交流による  
人材育成・地元定着促進プログラム



地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）

# 事業報告書 （平成27年4月～令和元年12月）

## 目次

ご挨拶

### I. 事業概要

1. 地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+事業）の概要	6
------------------------------------	---

### II. 実施体制

1. 事業協働機関との体制	9
(1) とっとり地域志向人材育成・定着イニシアティブ会議	11
(2) とっとり地域志向人材育成・定着イニシアティブ会議幹事会	11
(3) 教育プログラム開発委員会	11
2. 鳥取大学学内の体制	12
(1) 地（知）の拠点大学による地方創生推進委員会	12
(2) 地（知）の拠点大学による地方創生推進戦略会議	12
(3) 地（知）の拠点大学による地方創生推進室	13
(4) コーディネーターの配置	13

### III. 数値目標・実績

1. 地（知）の拠点大学による地方創生推進事業における共通成果に対する事業目標と実績	15
(1) 事業協働地域就職率	15
(2) 事業協働機関へのインターンシップ参加者数	17
(3) 事業協働機関からの寄附講座数	17
(4) 事業協働機関雇用創出数	18
2. 独自の目標と実績	18

### IV. 事業進捗状況

〈鳥取大学〉

1. COC+事業総括	19
2. 活動実績	20
(1) 教育プログラム開発	20
① 「地域創生推進プログラム」の創設 〈活動1〉	21
A. 涵養する能力・資質とカリキュラムマップ	22
B. 地域創生推進プログラムによる教育効果の可視化	22
② 鳥取県4大学間の単位互換協定締結 〈活動1〉	23
A. 単位互換協定に基づく講座開設	23
B. e-learning 開設に関するガイドライン	23
C. e-learning 教材の著作物利用に関するガイドライン	24

D. e-learning 教材作成のながれ .....	24
E. COC + 推進室所有の収録済み DVD .....	24
F. 大学間の教員相互派遣 .....	24
③ COC+シンポジウムの開催〈活動4〉 .....	24
④ 地元定着の実態に関する解析〈活動4〉 .....	25
⑤ 学生の自主的な活動〈活動1〉 .....	26
A. 学生による自主的な地域活動の定着と「学生 Small CoRE Project」(*)の創設 .....	26
B. アントレプレナーの誕生 .....	27
(2) キャリア支援 .....	28
① 地域協働型インターンシップ〈活動2〉 .....	29
② 学生参加型の産官学共同研究 ～共同研究型インターンシップ〈活動3〉 .....	30
③ グローバル展開のためのインターンシップ〈活動3〉 .....	32
④ 地域就業論〈活動1〉 .....	33
(3) コーディネーター活動 .....	35
○ 鳥取大学のコーディネーター活動年表 .....	38
① 県内企業見学シャトル便の運用〈活動2〉 .....	39
② 大学研究紹介パネル展(高大連携)〈活動1〉 .....	41
③ 地域ニーズ窓口〈活動3〉 .....	43
④ COC+事業広報活動〈活動3〉 .....	45
⑤ COC+セミナー〈活動2〉 .....	48
⑥ COC+学生サポーター〈活動1〉 .....	51

### 〈公立鳥取環境大学〉

1. COC+事業総括 .....	54
2. 活動実績 .....	54
(1) 「鳥取学」-「麒麟プロジェクト研究」-「麒麟の知」〈活動1〉 .....	54
(2) 地域協働によるキャリア教育活動〈活動1〉 .....	55
(3) 地域に密着した社会体験と職業意識の醸成〈活動2〉 .....	56
(4) 地域の中高生の学習支援活動「環境大スタディ(カンスタ)」〈活動1〉 .....	57
(5) 「とっとり麒麟地域活性化プラットフォーム」の運営〈活動3〉 .....	57
(6) 「岩美むらなかキャンパス」を開所 研究・地域連携活動の拠点を拡大〈活動3〉 .....	58
(7) 「TUES 麒麟マイスター認定制度」と「麒麟特別研究費助成制度」を創設、運用開始〈活動1〉 .....	59
(8) 地域と学生をつなぐ場の創設に向けて～「麒麟学生フォーラム」への展開～〈活動2〉 .....	60

### 〈鳥取短期大学〉

1. COC+事業総括 .....	61
2. 活動実績 .....	61
(1) 高校パネル展(高校訪問)〈活動1〉 .....	61
(2) 「就職企業説明会」の開催〈活動3〉 .....	62
(3) 「地域創生推進プログラム」の認定〈活動1〉 .....	62
(4) 「保育学生のための職場見学会」の実施〈活動3〉 .....	62

(5) 「保育学生のための職場説明会」 および 「栄養士のための企業説明会」 の実施 〈活動 3〉	63
---	----

#### 〈鳥取看護大学〉

1. COC+事業総括	64
2. 活動実績	65
(1) COC+講演会の開催 〈活動 2〉	65
(2) 鳥取看護大学方式「まちの保健室」の推進 〈活動 2〉	65
(3) まめんなかえ師範塾事業 〈活動 2〉	66
(4) 鳥取看護大学「地域志向科目」 〈活動 1〉	68

#### 〈米子工業高等専門学校〉

1. COC+事業総括	69
2. 活動実績	70
(1) JR 大山口駅舎のデザイン 〈活動 3〉	70
(2) オープンファクトリー 〈活動 2〉	71
* 令和元年度 オープンファクトリー 終了後学生アンケート (集計)	
(3) 企業面談会 〈活動 2〉	73

### V. 事業評価

1. COC+事業に関する外部評価委員評価 (平成 28 年度～平成 30 年度)	74
(1) 体制	74
(2) 外部評価実施および評価結果	74

### VI. 参考資料

資料 1～資料 14	83
------------	----

## ご挨拶

### ～学生と社会の相互交流による 人材育成・地元定着促進プログラム～



学長 中島 廣光

鳥取大学は、「令和」という新たな時代が始まる 2019 年に創立 70 周年を迎えました。「昭和」「平成」「令和」という 3 つの時代を通して、本学の基本理念「知と実践の融合」のもと教育、研究に取り組み、その成果を広く社会に提供することにより社会の発展に寄与してまいりました。

平成 25 年度に文部科学省の「地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）」に採択され、地域志向人材の育成や人口減少・少子高齢化に適応した社会づくり及び空洞化した県内産業の再生・成長など、地域課題解決に貢献する大学としての機能強化を図ってまいりました。さらに、平成 27 年度からは「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+事業）」の採択を受け、「学生と社会の相互交流による人材育成・地元定着促進プログラム」を開始いたしました。

この事業では、県内全ての高等教育機関と連携し、地方公共団体や産業界、金融界などの県内の事業協働機関と共に、急速に進行する地域社会の人口減少・少子高齢化に対応して、教育カリキュラムの改革や魅力ある就業の場の創出・開拓等、地方創生の中心となる「ひと」の地域社会への集積に努めてまいりました。このたび 5 年間の事業期間を終えるに当たり、これまで地域社会と一体となって実施した「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+事業）」の主な活動を本報告書に取りまとめました。

急速な少子・高齢化が進む中、次世代を担う多くの若者が大学進学及び就職を機に県外に流出するという大きな課題は残されており、県内の高等教育機関は、これからも事業協働機関と共に卒業生の地元定着の促進に継続して取り組んでいく必要があると考えています。今後とも、持続的で活力ある地域社会を創生するために、事業協働機関をはじめ多くの皆様に、一層のご理解とご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# I. 事業概要

## 1 地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+事業）の概要

○平成27年度に文部科学省の5ヶ年の補助事業として採択された地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+事業）では、鳥取大学、公立鳥取環境大学、鳥取看護大学、鳥取短期大学、米子工業高等専門学校という鳥取県内の全ての高等教育機関が連携するとともに、人口が最も少ない鳥取県の強みを活かして、高等教育機関と自治体・企業とのネットワークを強化し、学生に県内の産業や自治体など多岐に亘る分野に定着することを動機付ける継続的な仕組みを構築して、人口最少県発の地方創生モデルを確立することを目的とした。

○そのため教育分野では、大企業の撤退、産業の海外転出などが進む中、大規模な事業や大量生産という「大きさ」を志向するのではなく、起業家精神をもって「小さな」ことから地道にことを始め、ことを起こしていくことができる人材の育成を目標に、地域志向科目、キャリア教育科目、起業・ビジネス科目等から構成される「地域創生推進プログラム」の創設や、4大学間の「単位互換協定」締結を踏まえた連携講座を創設する等、人材の育成に努めた。

○キャリア教育においては、学生と企業・自治体との間に「顔の見える関わり」の場を多様に設け、様々

な教育場面で学生と社会との接点を作ることを目標に、実務家教員の招聘や、地域協働型インターンシップを通じたマッチング機能を向上させた。

○さらに、小さなこと始め・こと起こしの学びの過程に学生と企業・自治体の職員がともに参加・交流することで、学生の県内での就業意欲を高め、企業・自治体の職員も、ことを起こして創造的な生産活動を促進するための地域ニーズ窓口をとおり、雇用機会の創設にも取り組んだ。

○県内の各高等教育機関は、以下の活動1～活動5に分類した内容に沿い、各校の実情に合わせて、具体的に活動した。本事業の最終目標である令和元年度事業協働地域就職率については、令和2年5月に確定するが、目標達成に向けた各校独自の取り組みがなされてきている。

- 〈活動1〉：事業協働地域が要請する人材の育成
- 〈活動2〉：学生と自治体・企業とのマッチング機能の向上
- 〈活動3〉：創造的な自治体・企業活動の促進
- 〈活動4〉：人材育成ならびに地元定着に関する研究成果の蓄積
- 〈活動5〉：事業協働地域との連携を推進する体制の整備

## 鳥取大学

# 学生と社会の相互交流による人材育成・地元定着促進プログラム

参加校 公立鳥取環境大学(COC校)・鳥取看護大学・鳥取短期大学・米子工業高等専門学校

参加自治体 鳥取県・鳥取市・米子市・倉吉市・境港市 他(計20機関)

参加企業 鳥取県産業振興機構・鳥取県商工会議所連合会・鳥取大学振興協力会  
山陰合同銀行・鳥取銀行・鳥取県商工会連合会 他(計10機関)



## 事業の概要・目的

### (事業協働地域の人口動態)

鳥取県は人口が57.4万人と全国最少の上、毎年4000人程度の減少が続いています。出生率は全国の上位にありますが、それを上回る死亡数や転出超過により、国の機関の予測では2040年には44.1万人まで減少するとされており、出生率の向上と社会減の解消が地域の存立に大きな課題となっています。

### (若年層の地元定着に向けて)

COC事業により開設した地域志向科目やキャリア教育、プロジェクト体験科目等を充実し、学生の地域志向マインドを高め、県内就職者の増加を図ります。また、地域協働型、学生参加型共同研究等のインターンシップや実務家教員の活用により、学生の地元企業への理解を深め、安心して就職できる環境整備に努めます。併せて、自治体との連携事業や経済支援の充実と共に、企業説明会やセミナー、講演会等を実施し、学生の地元定着を促進します。更に、鳥取県出身学生の地元就職率が70%程度と高いことに着目し、先ず、県内高校生の入学促進に取り組み、卒業後の地元定着を図ります。

### (雇用創出に向けた取組)

県内全ての自治体と高等教育機関が協定を締結し、雇用の創出と卒業者の地元定着に努めます。鳥取県は「正規雇用1万人チャレンジ計画」に基づき、企業誘致や新たなビジネス展開の支援と共に奨学金償還支援等の経済支援を行います。企業、自治体、高等教育機関が一体となり、地元企業と学生とのマッチング強化施策を推進し、学生参加型共同研究やPBL等により学生に魅力的な雇用の創出に取り組みます。

### (役割分担)

参加校は地元企業や自治体の協力を得ながら、地域志向科目や体験型、実践型授業科目等、学生の地域志向性を強化する教育プログラムの創設と充実を図ります。参加企業はインターンシップや企業説明会及び実務家教員の派遣等、教育現場へ積極的に参画し、学生と企業間の相互理解を促進し、地元企業への就職意欲の醸成に努めます。自治体は奨学金制度の確立や運用等の地方創生戦略に基づき、雇用の創出と地元定着の促進に取り組みます。

## COC+での教育カリキュラム改革

### (構築される教育プログラムの特徴)

地(知)の拠点整備事業において開発した地域志向科目をベースとして、キャリア教育(1年生)、起業・ビジネス科目とキャリア・プロジェクト体験科目(2~3年生)、スモールプロジェクト科目(3年生)、インターンシップを柱とした教育プログラムです。様々な授業に産業界・自治体の方が多様な形態で関与し、学生の就職意識を高めながら学習できるよう設計しています。また、地域の企業とともに実施する卒業論文等も支援し、学生の就職支援と企業の課題もあわせて解決する仕組みを導入しています。

### (養成される人材(卒業後の学生のイメージ))

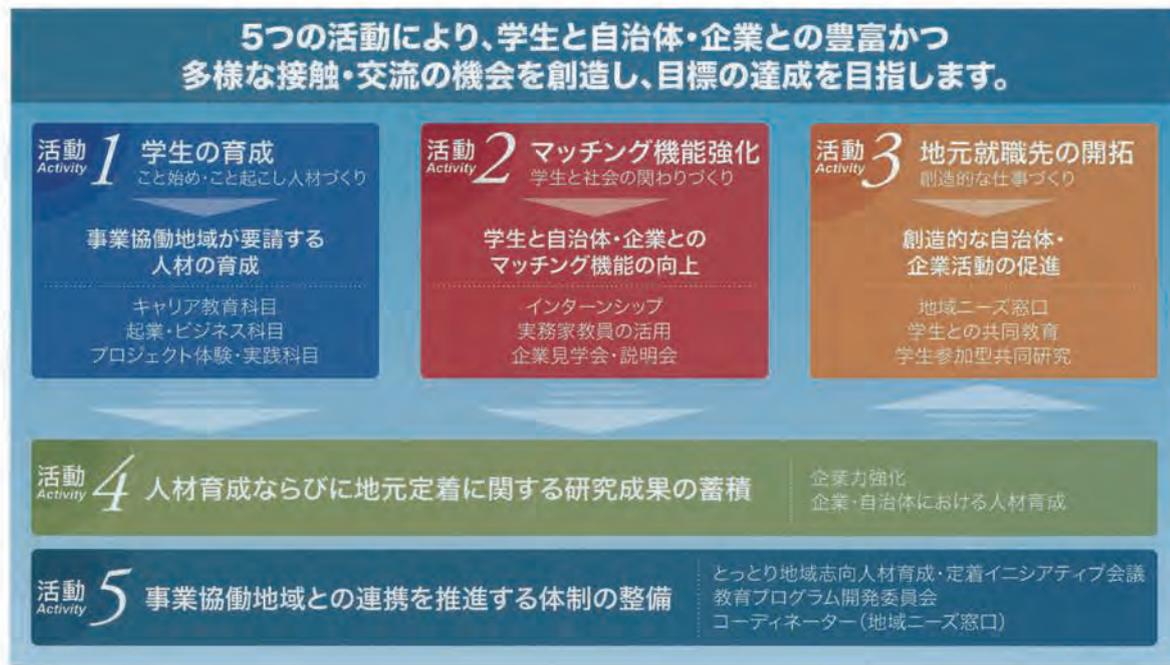
企業の中で保守的に仕事をするのではなく、起業家精神をもって「小さなこと始め・起こし」ができ、新たな挑戦をしていく人材を育成します。これまでの「当たり前」を批判的に検討した上でそれを再編する方向で物事を考える力、アイデアを構想しそれを何らかの形として表現して周囲に訴求する力、グループの一員として目的に向かって行動できる力、事業プロセスを通観できる能力を育み、製造業、農業、観光、医療・介護、サービスならびに行政分野での活躍を期待します。

区分	1年	2年	3年	4年/大学院生
地域志向科目	地域志向科目群			
キャリア教育	キャリア入門 地域就業論			
起業・ビジネス科目	起業入門 マーケティング入門		ビジネスプランニング実践 財務プランニング実践	
キャリア・プロジェクト体験科目			地域公共メディア論 6次産業化論 地域観光論	
スモールプロジェクト実践			ものづくり実践 起業プランニング 起業とプロトタイピング	
インターンシップ		就業体験学習 (地域協働型)	インターンシップ (卒業論文と連動)	
COC+セミナー、各種団体によるビジネスフォーラム				

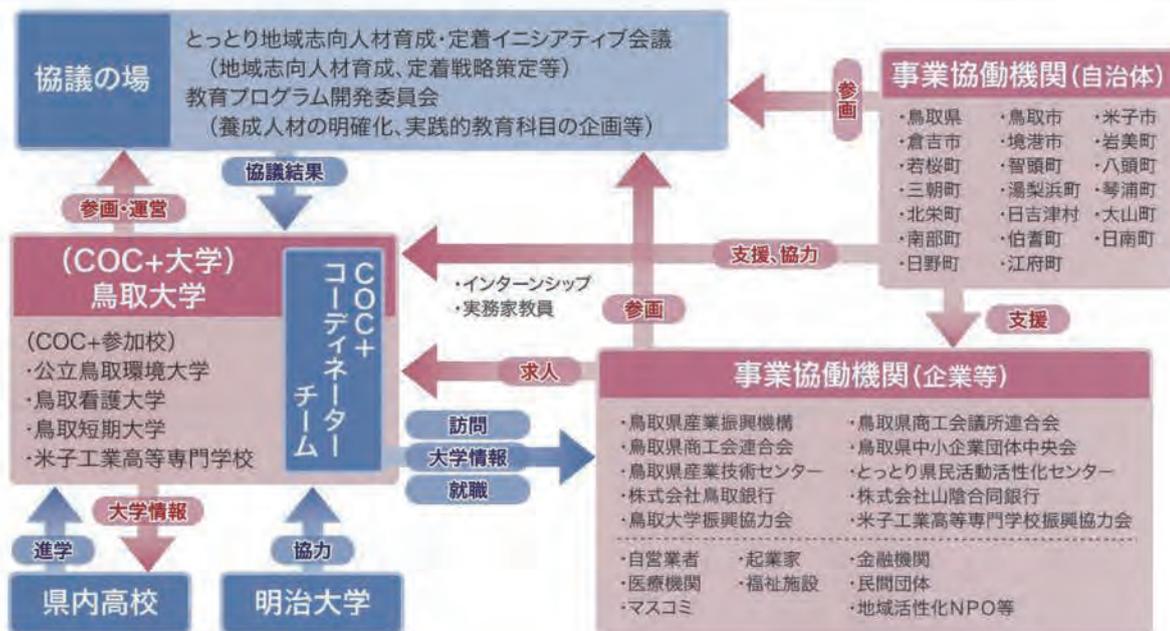
数値目標	基礎指標 (平成26年度)	進捗状況 (平成27年度)	目標値 (平成31年度)
事業協働地域就職率	34.2%	32.0%	44.3%
就職者増に占める事業協働機関雇用創出数	0名	0名	163名
事業協働機関へのインターンシップ参加者数	129名	143名	213名

1. 事業概要

事業の概要



各機関の連携



**鳥取大学**  
大学院工学研究科  
博士前期課程  
社会基盤工学専攻  
**山口 真和**

今、私が暮らす鳥取県は大きな分岐点に差し掛かっていると思います。人口の減少や地域の過疎化、少子高齢化など様々な問題と向き合っていかなければなりません。このCOC+事業をきっかけに鳥取県の地域の方々と鳥取大学がより密着して地域課題の解決に取り組み、大学と地域の高い協力・連携が生まれることを期待します。



**鳥取県**  
知事  
**平井 伸治**

若者の未来こそ、地域の未来、国の未来。鳥取県が日本で一番人口が少ないということは、一人一人の役割が最も大きいということ。学び舎を出てどういう人生を選ぶのか。大きな足跡を残すことができるなら、そういう人生にかけてみる、そんな人材が時代を変えます。鳥取県は本気で地方創生に取り組んでいきます。「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」とは、そんな地域とこの国を、夢の実現へ導く道です。



**鳥取大学振興協会会長**  
**気高電機株式会社**  
代表取締役  
**羽馬 好幸**

鳥取県内の産業界を取り巻く環境は常に変化しており、産業の再生・成長は一朝一夕で成し遂げられるものではありません。大学にはこれまで以上に将来の産業を担うことができる素晴らしい人材の育成・輩出を期待しています。そのためにも、まずは学生に地元・地域を良く知って理解してもらうことが重要であり、大学と連携してそのような機会の創出に取り組んでいきたいと考えています。

## II. 実施体制

### 1 事業協働機関との体制

本事業では、COC+大学である鳥取大学を中心に、COC+参加校として鳥取県内の4高等教育機関が連携し、県内の全自治体と企業・経済団体等との協働により、事業を遂行することとした。

事業及び活動の具体的な検討や実施のため、事業協働機関の代表等で組織される「とっとり地域志向人材育成・定着イニシアティブ会議」を組織し、そのもとに「とっとり地域志向人材育成・定着イニシアティブ会議・幹事会」を設置した。

また、COC+事業における人材育成に向けた教育プログラムや教育カリキュラムの改革等の検討を行う組織として、「教育プログラム開発委員会」を設置した。

さらに、鳥取大学内において、COC+参加校の代表等で構成される鳥取大学「地（知）の拠点大学による地方創生推進委員会」を組織し、そのもとに鳥取大学教職員で組織される「地（知）の拠点大学による地方創生推進戦略会議」及び「地（知）の拠点大学による地方創生推進室会議」を設置し、事業・活動の円滑な実施を図った。

COC+大学		鳥取大学
事業協働機関	COC+参加大学	公立鳥取環境大学、鳥取看護大学、鳥取短期大学、米子工業高等専門学校
	参加自治体	鳥取県、鳥取市、米子市、倉吉市、境港市、岩美町、八頭町、若桜町、智頭町、湯梨浜町、三朝町、北栄町、琴浦町、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町
	参加企業等	公益財団法人鳥取県産業振興機構、鳥取県商工会議所連合会、鳥取県商工会連合会、鳥取県中小企業団体中央会、株式会社鳥取銀行、株式会社山陰合同銀行、鳥取大学振興協力会、公益財団法人とっとり県民活動活性化センター



### (1) とっとり地域志向人材育成・定着イニシアティブ会議（事業協働機関・協議の場）

#### ①趣旨

COC+事業に関する重要事項を協議するもので、COC+大学である鳥取大学学長を会長に、県内の事業協働機関で構成し、事業協働地域が一体となって地方創生に取り組むために設置。

#### ②協議内容

- 1) 地域志向人材の育成及び定着のための戦略の決定
- 2) 鳥取県内経済界等との対話・協調（人材投資、養成人材像、インターンシップ等）
- 3) 鳥取県、各市町村の地方創生戦略及び関連施策との企画調整
- 4) 鳥取県正規雇用1万人チャレンジ計画との企画調整
- 5) 人材育成・定着のための取組の効果的な情報発信の検討
- 6) 事業及び目標のPDCA管理
- 7) その他鳥取県の産業振興等人材の育成・定着に資する協議

#### ③各構成員

- 1) 高等教育機関
- 2) 経済団体
- 3) 金融機関等
- 4) 行政
- 5) 報道機関
- 6) NPO 団体等

\* 設置要綱ならびに会議内容等については別頁にて

### (2) とっとり地域志向人材育成・定着イニシアティブ会議幹事会

#### ①趣旨

事業協働地域における COC + 事業の企画、連絡・調整、情報収集等を行うために、設置。

#### ②協議事項

- 1) 地域志向人材の育成及び定着のための戦略の

決定

- 2) 鳥取県内経済界等との対話・協調（人材投資、養成人材像、インターンシップ等）
- 3) 鳥取県、各市町村の地方創生戦略及び関連施策との企画調整
- 4) 鳥取県正規雇用1万人チャレンジ計画との企画調整
- 5) 人材育成・定着のための取組の効果的な情報発信の検討
- 6) 事業及び目標のPDCA管理
- 7) その他鳥取県の産業振興等人材の育成・定着に資する協議

#### ③構成員

- 1) 高等教育機関
- 2) 経済団体
- 3) 金融機関
- 4) 行政
- 5) その他学長が必要と認めた者

### (3) 教育プログラム開発委員会

#### ①趣旨

とっとり地域志向人材育成・定着イニシアティブ会議における協議を踏まえて、養成人材像の検証・明確化、教育科目の企画、インターンシップの企画、学生参加型の産学共同研究などを検討のため設置。

#### ②協議事項

- 1) 事業協働機関が求める養成人材像の検証・明確化
- 2) 養成人材像、地域課題を踏まえた実践的教育科目の企画
- 3) 実践的教育科目実施に必要な実務家教員による教育の企画
- 4) 鳥取県インターンシップ協議会と連携した地域協働型インターンシップの企画
- 5) 学生参加型の産学共同研究の促進策
- 6) その他地域志向人材を養成する教育プログラム開発に必要な事項

## II. 実施体制

### ③ 構成員

- 1) 高等教育機関
- 2) 経済団体
- 3) 金融機関等
- 4) 行政

## 2 鳥取大学学内の体制

### (1) 地(知)の拠点大学による地方創生推進委員会

#### ① 趣旨

県内の高等教育機関がCOC+事業を推進し、教育・研究・社会貢献に関して横断的な連携を図るため設置した。

#### ② 審議事項

- 1) 事業の基本的方針に関すること
- 2) 事業の実施及び運営に関すること
- 3) 事業にかかる組織又は人事に関すること
- 4) 事業の予算に関すること
- 5) 事業の点検、評価、改善に関すること
- 6) その他事業に関すること

### ③ 構成員

- 1) 学長
- 2) 理事（教育担当、地域連携担当、企画・評価担当）
- 3) 公立環境大学長
- 4) 鳥取看護大学長
- 5) 鳥取短期大学長
- 6) 米子工業高等専門学校長
- 7) 地域連携コーディネーター
- 8) その他委員長が必要と認めた者

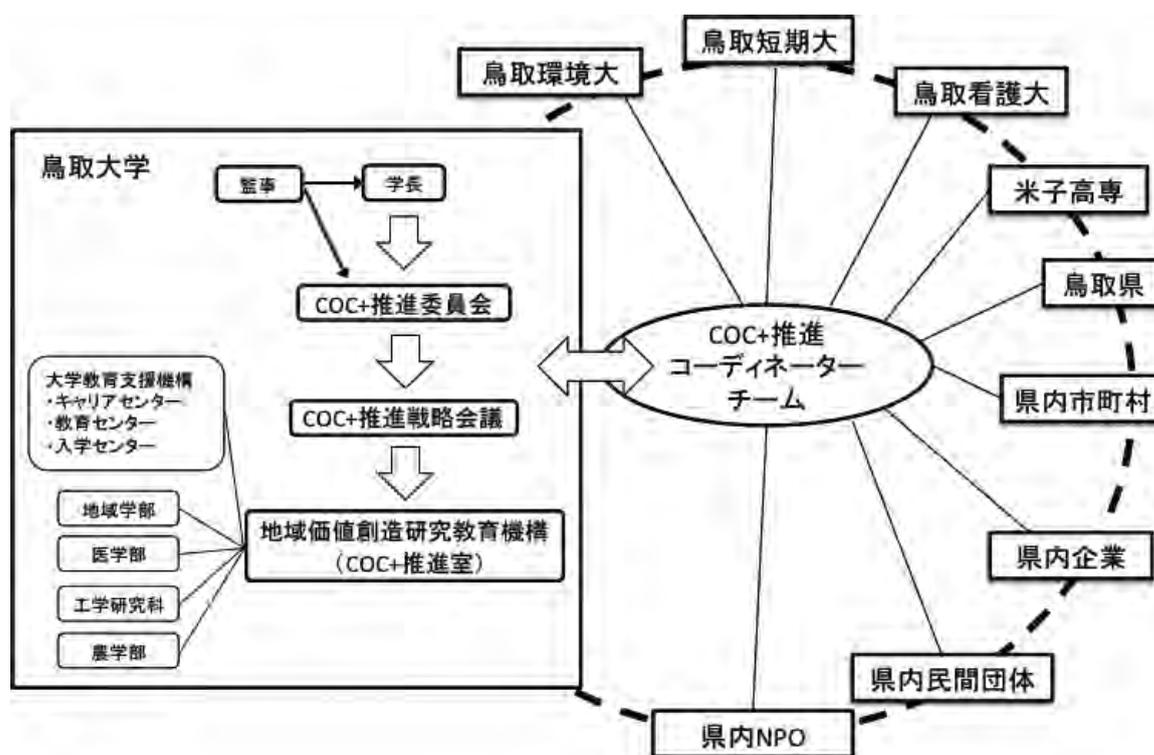
### (2) 地(知)の拠点大学による地方創生推進戦略会議（協議・決定機関）

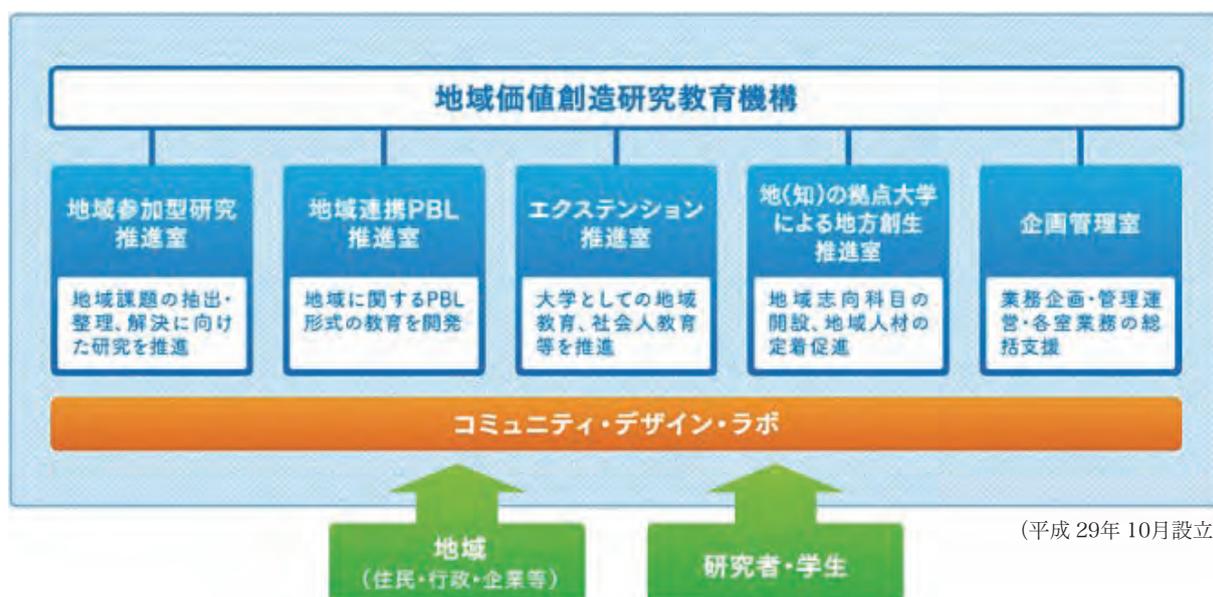
#### ① 趣旨

・COC+事業の推進に当たり、戦略的な対応が必要な事項等について協議するため設置。

#### ② 議事事項

・地(知)の拠点大学による地方創生推進委員会の審議事項について事前に協議するほか、COC+事業の推進に関する重要事項について審議。





### ③ 構成員

- 1) 学長
- 2) 理事
- 3) 各学部長
- 4) 地（知）の拠点大学による地方創生推進室長
- 5) 地域連携コーディネーター（COC+）のうち統括的業務を担当する者
- 6) その他学長が必要と認めた者

各学部、教育支援・国際交流推進機構（教育センター、キャリアセンター、入学センター、国際交流センター）、地域価値創造研究教育機構（平成29年9月までは産学・地域連携推進機構）

- 3) 地域価値創造研究教育機構、学生部（教育支援課、学生生活課）の職員
- 4) 地域連携コーディネーター（COC+）
- 5) その他学長が必要と認めた者

### (3) 地（知）の拠点大学による地方創生推進室

#### ① 趣旨

・関係する部局、他の高等教育機関と連携し、COC+事業を推進するための具体的な施策、予算管理等を実施するため、地域価値創造研究教育機構の内部組織として設置。

#### ② 業務

- 1) 地域志向科目及び地域創生推進科目の拡充・推進
- 2) 地域の自治体・企業と学生のマッチング機能の向上、その他地域との連携推進

#### ③ 構成員

- 1) 理事（地域連携担当、教育担当、企画・評価担当）
- 2) 次の部局の兼務教員

#### (4) コーディネーターの配置

##### ① COC+地域連携コーディネーターの配置

・平成28年4月より、COC+推進コーディネーターを鳥取大学に配置し、4名のコーディネーター（内、シニアコーディネーター、ミドルコーディネーター各1名）体制を整備した。その後、COC+推進コーディネーターは平成29年10月に組織された地域価値創造研究教育機構の所属となり、COC+地域連携コーディネーターへ名称を変更した。（以下「コーディネーター」）各コーディネーターは、定期的に打合せを行う等連絡を密にしながらチームとして活動している。各担当地域で事業協働機関を訪問し、COC+事業の紹介、求人依頼、実務家教員の打診のほか、鳥取創生チーム会議、インターンシップ合同説明会、合同企業説明会、産業技術フェアなどでの情報交換

## II. 実施体制

### 〈各 COC+地域連携コーディネーター任期〉

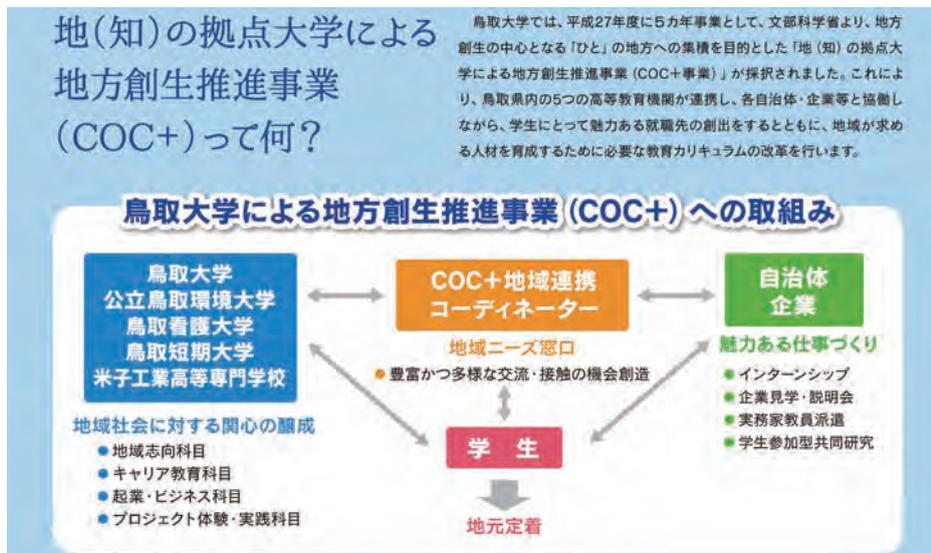
担当	所属	職名	在職期間（当初予定）				任期
			1年	2年	3年	4年	
統括	鳥取大学	シニアコーディネーター	→				2年
東部	鳥取大学	ミドルコーディネーター	→				4年
中部	鳥取看護大学・短期大学	コーディネーター	→				3年
西部	米子工業高等専門学校	コーディネーター	→				3年

\* 3年目からミドルコーディネーターがシニアコーディネーターの統括の担当を引継ぐ。

のほか、試行的に地域ニーズ窓口の役割も果たすなど、事業協働機関との連携強化を図った。

### ②コーディネーターの役割

- 1) とっとり地域志向人材育成・定着イニシアティブ会議の会長を補佐し、地域志向人材育成・定着戦略を立案・主導し、会議の運営、事業進捗及び目標の管理を行う。
- 2) 県内企業等の経営者、人事責任者等のヒアリング、アンケート等により求められる人材像を描き、教育プログラムに反映させる。
- 3) 鳥取県、各市町村の地方創生戦略や鳥取県正規雇用1万人チャレンジ計画等のプロジェクトに積極的に参画し、行政機関と緊密に情報交換し、地域志向人材の育成・定着戦略や教育プログラム等に反映させるとともに、戦略に資する政策を提案する。
- 4) 各高等教育機関のキャリア支援センター、就職支援担当部局等と連携して地域協働型インターンシップの「事業参画型」「課題協働型」化の促進、学生と県内企業のマッチングシステムの革新を図る。
- 5) 産業支援団体、産学金官連携組織や行政等と連携して、企業の技術・経営革新や企業誘致を促進する取組に積極的に参画し、就職先を開拓する。
- 6) 各高等教育機関と連携して、開発する教育プログラムの定着を図る。
- 7) 入学センター等と連携して、県内からの入学促進を図る。
- 8) 人材育成・定着のための取組を効果的に情報発信する。
- 9) 事業計画・予算・経費配分案等の立案、その他事業協働機関との連絡調整等を行う。



〈参考〉COC+地域連携コーディネーターの役割

## Ⅲ. 数値目標・実績（共通項目）

### 1 地（知）の拠点大学による地方創生推進事業における共通成果に対する事業目標と実績

#### (1) 事業協働地域就職率（H27年度～H30年度） ～下図グラフ参照

・事業協働地域就職率は平成27年度以降毎年度目標値を下回る結果となっているが平成30年度については、鳥取看護大学の第1期卒業生の県内就職率が90.6%と目標を上回り、全体として前年度比6.1%の上昇が見られ、全体の底上げが図

られた（COC+大学である鳥取大学の就職率は前年度比1.5%上昇）。

- ・全体として、目標値には達していないが、県外出身者の県内就職が増加する傾向が見られ、COC+事業を通して鳥取県の住み易さや、県内企業への理解が浸透したものと推察される。
- ・また、首都圏等大都市への就職者数は漸減しており、半数の学生は出身地にUターンしている。

事業目標項目	H26	H27		H28		H29		H30		R1
	実績	目標								
① 事業協働地域就職率（%）	34.2	33.2	31.6	34.9	29.6	34.6	29.1	40.6	35.2	44.3
うち COC+大学	22.8	24.7	22.6	26.5	20.2	27.3	21.8	31.1	23.3	35.4
② 事業協働機関へのインターンシップ参加者数（人）	129	143	162	160	248	177	381	194	426	213
うち COC+大学	58	70	71	82	92	94	114	106	103	120
③ 事業協働機関からの寄附講座数（申請時に「寄附講座」以外の取組を記載した場合その名称とすること）	1 講座	1 講座	1 講座	2 講座						
うち COC+大学	1 講座	1 講座	1 講座	2 講座						
④ 事業協働機関雇用創出数（人）	0	0	0	0	0	14	60	106	69	163

#### □ 県内高等教育機関（学部・本科）の県内就職状況

%（人） □数値目標（%）

学校名	区分	H26年度	H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		H31年度（最終） 目標
		基準	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
鳥取大学	学部	22.8	24.7	22.6 (141)	26.5	20.2 (135)	27.3	21.8 (143)	31.1	23.3 (151)	35.4
公立鳥取環境大学	学部	32.1	24.9	22.2 ( 47)	26.2	22.8 ( 55)	22.7	10.1 ( 26)	30.2	23.7 ( 54)	31.4
鳥取短期大学	本科	75.6	71.6	70.2 (160)	74.4	73.6 (162)	72.0	75.7 (174)	72.0	75.8 (185)	76.8
鳥取看護大学	本科	—	—	—	—	—	—	—	68.8	90.6 ( 58)	70.4
米子工業高等専門学校	本科	18.8	21.6	19.8 ( 20)	24.6	15.5 ( 20)	28.4	20.4 (2 3)	31.3	11.0 ( 14)	32.8
合 計		34.2	33.2	31.6 (368)	34.9	29.6 (372)	34.6	29.1 (366)	40.6	35.2 (462)	44.3

### III. 数値目標・実績（共通項目）

#### ○就職に伴う大学生の県内外への流出入一覧

鳥取大学 COC+推進室

		平成 27 年度 (2016 春)	平成 28 年度 (2017 春)	平成 29 年度 (2018 春)	平成 30 年度 (2019 春)	計 (4 年間)
鳥取大学	県内出身者の県外流出 a	39	41	33	34	147
	県外出身者の県内流入 b	38	33	40	50	161
	差引き (a - b)	▲ 1	▲ 8	7	16	14
公立鳥取環境大学	県内出身者の県外流出 a	17	13	14	10	54
	県外出身者の県内流入 b	14	16	9	22	61
	差引き (a - b)	▲ 3	3	▲ 5	12	7
鳥取短期大学	県内出身者の県外流出 a	18	18	10	19	65
	県外出身者の県内流入 b	6	10	7	8	31
	差引き (a - b)	▲ 12	▲ 8	▲ 3	▲ 11	▲ 34
鳥取看護大学	県内出身者の県外流出 a				2	2
	県外出身者の県内流入 b				15	15
	差引き (a - b)				13	13
米子工業高等専門学校	県内出身者の県外流出 a	66	96	80	97	339
	県外出身者の県内流入 b	1	2	0	1	4
	差引き (a - b)	▲ 65	▲ 94	▲ 80	▲ 96	▲ 335
全 体	県内出身者の県外流出 a	140	168	137	162	607
	県外出身者の県内流入 b	59	61	56	96	272
	差引き (a - b)	▲ 81	▲ 107	▲ 81	▲ 66	▲ 335

#### ○首都圏（埼玉・東京・千葉・神奈川）への集中状況

(人)

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
鳥取大学	85	115	83	93
公立鳥取環境大学	31	37	61	40
鳥取短期大学	5	8	2	2
鳥取看護大学	—	—	—	0
米子工業高等専門学校	32	47	51	53
全 体	153	207	197	188

#### ○大学生の地元Uターン率

(%)

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
鳥取大学	48.7	49.6	53.4	48.3
公立鳥取環境大学	45.8	50.2	45.3	44.7
鳥取短期大学	89.0	84.5	96.1	88.1
鳥取看護大学	—	—	—	73.4
米子工業高等専門学校	25.8	14.7	22.1	11.8
全 体	53.9	52.2	56.0	52.8

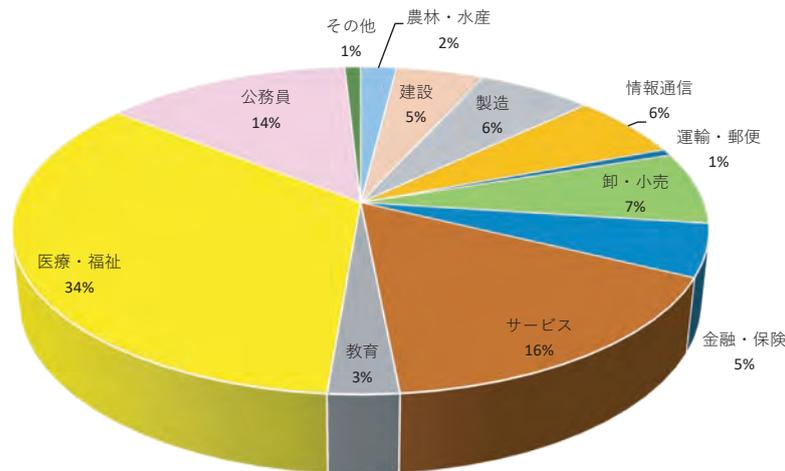
〈参考〉 H30 年度 鳥取県内就職先（業種別割合）

平成 30 年度 業種別県内就職者数（円グラフは業種別人数割合）

(人)

業種	全体	鳥取大	鳥取環境大	鳥取短大	鳥取看大	米子高専
農林・水産	9	1	3	1		4
建設	22	6	2	11		3
製造	29	10	4	10		5
情報通信	29	14	4	10		1
運輸・郵便	3		1	2		
卸・小売	33	4	10	18		1
金融・保険	24	14	7	3		
サービス	75	7	13	55		
教育	13	2		11		
医療・福祉	159	49		56	54	
公務員	62	41	9	8	4	
その他	4	3	1			
計	462	151	54	185	58	14

H30年度県内就職（全体）462人



**(2) 事業協働機関へのインターンシップ参加者数**

・「とっとりインターンシップ」(地域協働型インターンシップ)を実施した結果、事業協働機関へのインターンシップ参加者数は426人(平成30年度実績)と目標を大きく上回っている。この事業は、鳥取県、鳥取大学及びCOC+参加校並びに県内企業が協働して実施する独自のインターンシップ事業であり、鳥取県中小企業団体中央会に配置した専属のコーディネーターが、学生の希望にあった企業の選定、インターンシップ・プログラム、日程の調整、インターンシップ中の困りごとへの

対応や学生、大学等への企業PR、連絡、調整など企業と学生のニーズに柔軟に対応することの特徴としている。(詳細はキャリア支援「地域協働型インターンシップ」参照)

**(3) 事業協働機関からの寄附講座数**

・寄附講座数については、計画していた寄附講座のうち1件は、寄附者の事情により受託事業として運営することとなったため、寄附講座の件数には計上しなかったが、外部資金を得ながら人材育成を実施するという目標は達成している。

(4) 事業協働機関雇用創出数

・各種事業に取り組むことにより、新たな雇用の創出につながっているものの目標値に達していない。学生と企業等の接触の機会を確保することで県内就職を希望する学生数ならびに企業側の受け皿を拡大する必要がある。実績値の具体的な算出方法については以下のとおり。

- A. 大学生が魅力を感じる企業・自治体＝平成27年度～29年度の3年間で複数人の採用実績がある企業・自治体の平均採用数と、平成30年採用実績の差分（正数のみ）をカウント  
……29人
- B. ②大学生が魅力を感じるだけの潜在力はあるが、企業力の向上と情報発信が必要な企業・自治体＝平成27年度～29年度の3年間で1名の採用実績がある企業・自治体が平成30年に2名以上採用していれば差分をカウント  
……2人
- C. 大学生が魅力を感じるまでにはもう少しの企業力の向上が必要な企業・自治体＝平成27年度～29年度の3年間に採用実績がない企業の平成30年採用実績を全員カウント  
……38人

以上A～Cにより、平成30年度は69人となった。

## 2 独自の目標と実績

○活動1

平成30年度は地域創生推進科目15科目を開講し、263人の学生が履修した。既に開設数及び履修学生数ともに最終年度の目標を達成している。

○活動2

マッチング機能強化イベント参加企業数は253社と、既に最終年度の目標（50社）を大幅に超える実績となっている。

○活動3

新規就職先訪問企業数は、4年間で95社と既に最終年度の目標（30社）を達成している。就職先開拓のための企業訪問数は161社に達しており、進捗状況は順調であるものの、最終年度はコーディネーター体制が3名から1名体制となるため活動実績は下がる見込みである。新規就職先訪問企業については順調であり、引き続き県内企業の周知を図っていく。

事項		H27	H28	H29	H30	R1
		実績	実績	実績	実績	目標
活動1	授業開設数	0科目	7科目	6科目	15科目	15科目
	授業履修学生数	0人	59人	83人	263人	110人
活動2	マッチング機能強化イベント（インターンシップ、就職説明会）参加企業数	139社	172社	216社	253社	50社
活動3	就職先開拓のための企業訪問数	1社	145社	151社	161社	200社
	新規就職先訪問企業数 （新規：過去5年間採用実績のない企業）	23社	19社	66社	95社	30社